

地域の子どもたちを 見守り・育てる

神戸市青少年育成協議会



● 青少年育成協議会って？

青少年の育成や、青少年を取り巻く環境づくりを目的に、地域で活動するボランティア（青少年育成委員）で構成されています。主に小学校区単位で、協議会・支部があり、全市で約4,700人（2022年7月末時点）が活動しています。

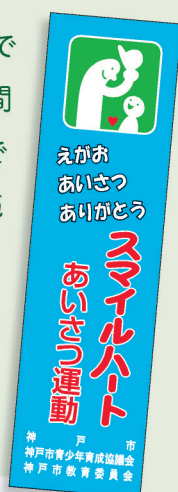


● どんな活動をしているの？

地域の実情に合わせて、通学路での見守り活動、防犯・交通安全・SNS等の啓発活動、地域の清掃活動、交流・体験イベントなど、さまざまな活動を行っています。

市民運動・あいさつ運動

学校が長期休みに入る前に「地域で青少年を守り育てる運動」の強調期間を設定し、各区・各地域などの単位でキャンペーンなどの啓発活動を実施しています。また、あいさつや声かけ、見守りを通じて、コミュニティの活性化や、安全・安心なまちづくりにつなげる「スマイルハートあいさつ運動」も行っています。



こども110番

通学路沿いの学校周辺の店・民家や、生活道路を走行する民間事業者（車）に、子どもの見守り活動や子どもが助けを求めてきたときの一時保護、保護者・学校等への連絡などのご協力をお願いしています。



こうべユース賞

文化・スポーツ・社会活動の各分野で活躍した青少年を対象に、表彰を実施しています。

発行 神戸市 問合せ ども家庭局ども青少年課(神戸市中央区加納町6-5-1)
E-mail kk_renkei@office.city.kobe.lg.jp TEL:322-5181 FAX:322-6043

支部紹介

北区青少年育成協議会藤原台支部

藤原台支部の子どもたちは2中学校・3小学校に通っており、活動は5校の児童、生徒を対象に行っています。行事は支部主催で行い、夏(7月)は3小学校での夏休み実験教室と中学校グラウンドでの星空映画会。秋(11月)は自然に恵まれた環境を生かしてオリエンテーリング形式での地域再発見のウォーキング。冬(1月)は地域周辺の神社への初詣(五神社詣り)。春(3月)は自然豊かな近隣公園での「春見つけ」を行っています。子どもだけでなく、地域の方にも参加頂き、地域コミュニティの場となるように活動しています。

(支部長 森 俊介)



こども110番 青少年を守る店

あらい鍼灸整骨院
(長田地区青少年育成協議会駒ヶ林支部)
新井 良幸さん



「守る店」は、今から10数年前に青少協育成委員の方からお声がけいただき、登録しました。当院の前は、小学校の通学路になっているため、一人で通学するなど気になる子を見かけたら声をかけるようにしています。

当院には小中高校生も治療にやってきます。頭、肩、腰が痛いという子が増えている印象があります。原因は一概には言えませんが、何かとストレスや情報量の多い現代では、心身のバランスが保ちにくいのかもかもしれません。この辺りは、昔ながらの下町の雰囲気が残っており、子どもたちにも「なんかあったら言いや」と、気安く声を掛けることができます。子育てに熱心な人が多く、子どもを見守る目が温かく、まちぐるみで子育てができていると思います。



続々オープン 地域の子育て支援拠点

おやかふらっとひろば

2023年6月末に垂水区に開設され、全区に



こべっこあそびひろば

2023年5月に3か所目が西神中央にオープン



こべっこランド

2023年2月に和岬岬に移転・リニューアルオープン



※「希望」は、今号より年1回の発行となりました。
バックナンバー(184号・185号)はこちらから。



本たよりは、「神戸市グリーン調達等方針」に係る判断基準を満たす紙を使用しています。

